



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2015年1月No.392

Chartered July 20, 1982

| 主 題 Y's THEME (2014~2015) | クラブ役員 Officers |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| センテナリクラブ会長 : 『多くの扉を開き感動を共に』 国際会長 : 『言葉より行動を』 アジア地域会長 : 『未来を始めよう、今すぐに』 西日本区理事 : 『響き合い、共に歩む』 中西部部長 : 『YMCA・ワイズ共に若者、社会に光を』 | 会 長 : 芝田 光雄 副会長/書記 : 何 早林 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 大村 肇 メネット会長 : 坂本 千春 Y連絡職員 : 鍛治田千文 |

Biblical Message of January

January Club Meeting

「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである」

(マタイによる福音書5章3節)

『IBC/DBC』

第19回中西部合同新年例会

日 時 : 2015年1月17日(土) 13:00~16:00

場 所 : 茨木市役所南館9階「スカイレストラン」

茨木市駅前3-8-13 電話 072-626-6753

第一部 セレモニー

第二部 講演と演奏

・講演~ブルーグラス音楽とは~

東實 文男・郷土茨木の歴史を語る会会長/IBMA 茨木ブルーグラス・ミュージック愛好会会長

・演奏 ブルーグラス

シャギーマウンテン・ボーイズ

登録費用 : 5,000円 (3,000円はクラブ負担)

主 催 : ワイズメンズクラブ国際協会西日本区中西部

ホスト : 大阪茨木クラブ

※参加者は第1例会の出席とみなします。

お誕生日 : 中村幸枝メネット、三浦、中村茂、藤井の各メン

※プレゼントは2月例会時にお渡しします。

例会担当 : なし

1月第2例会

日時 : 2015年1月21日(水) 18:30~20:30

場所 : 土佐堀YMCA会館4階

「日本への自由旅行が大人気」

何 早林

最近、中国の友人の間では団体旅行ではなく、日本への自由旅行が大人気です。日本政府が発行している3年マルチビザを利用して、団体旅行では味わえない真の日本を知りたいとのことで、知人だけで年に10組程が来ています。

皆の関心は有名観光地ではなく、旅行社ではない私のところに色んなリクエストが入って来ています。

ゴルフや温泉旅館、美味しいレストランはもちろんのこと、京都のお寺や骨董品店と伝統民芸品店めぐり、最近は茶道や香道に興味を持つ人もいて、日本の伝統文化に関心を持つ人達が増えています。幸い私も旅行好きで、日本国内の旅行で見つけた面白いものやお薦めスポットを中国のWechatを通じて友人達に発信しています。今年は昨年以上に自由旅行で日本に来る友人達が増えそうです。少しでもみんなの役に立つことができればうれしいです。

(次号は新保正秋さんです)

【クラブ統計 Statistics】



| 12月 | 種 別 | 第1例会 | 第2例会 | BFポイント | ニコニコ献金 |
|-------------|-------|------|------|------------|---------------|
| 在籍会員 20名 | メ ン | 11名 | 8名 | 12月 172g | |
| 例会出席 11名 | メネット | 6名 | 0名 | 現 金 0円 | 12月: 14,000円 |
| うちメーキャップ 0名 | ビジター | 0名 | 0名 | 累 計 | |
| 出席率 55% | ゲ ス ト | 1名 | 0名 | 切 手 5,939g | 累 計: 101,720円 |
| | 合 計 | 18名 | 8名 | 現 金 0円 | |

12月第2例会報告

と き：12月24日(水) 18:30~20:10

ところ：大阪 YMCA 会館4階

出席者：石津、岡本、芝田、中村隆、藤原、松浦、三浦、山中の各メン

例会予定

2月=坂本メン「TOF/CS/FF」ハワイ・香港IBCクラブ訪問者による報告会

3月=中村茂メン「EF/JWF」未定

4月=三浦メン「Yサ/ASF」大阪女学院大学 Ms.Chan Wanduragala 先生が承諾。

5月=中村隆メン「LT」未定

6月=「第18回西日本区大会」

報告/審議事項

- ① 土佐堀 YMCA チャリティーボウリング大会
1/24(土) 17時半、桜橋ボウル集合。大村、芝田、石津、松浦か何。
- ② 第20回大阪 YMCA チャリティーラン
2/1(日) 9時半受付、14時半終了予定。ヤンマースタジアム長居。山中、山中メネット、山田、三浦、岡本
- ③ 第7回センチニアル寄席
3/7日(土) 13時開場、13時30分~15時30分開演。次期主査・会長研修会と重なる。
- ④ YYフォーラム報告：中道基夫・神戸 Y 理事長/関学神学部教授より「オールジャパン YMCA の革新を」提議。
- ⑤ 次期役員選出は後日行う。
- ⑥ 本年度 Club of the year (貢献賞) は新会員獲得などで、全員一致で、山中秀男メンを推挙、EF 献金手配。
- ⑦ 藤井大祐メンのご母堂を、特別メネットに推挙。

(議事録より)

≡ Club Activities (December, 2014) ≡

On December 17, our club's final meeting for the year 2014 was held at Hotel Granvia Osaka with a total of 18 Y's men, Y's menettes and a guest in attendance. With its emphasis on EMC-C for this month, Mr. Hideo Yamanaka briefed on its purpose and meaning.

One of the highlights of the meeting was a speech made by Mr. Akira Kitade, former manager of the Kyoto Branch of the Mainichi Shimbun (The Mainichi Newspaper Co., Ltd).

Titled "what is the newspaper reporter's job and what the newspaper company covers," Mr. Kitade frankly spoke about his job and the inside story of the newspaper company. His most interesting subject was how to score a major scoop, taking advantages of other rival company. We understood that the news reporters found themselves worth living in scoring such a scoop in their daily business life.

Besides, we learned from him how newspapers were published with a lot of time and energy of persons involved. He also referred to the current challenges the newspaper company faces under the so-called IT revolution. Another highlight was a musical performance by the Centennial Haneli Makahiki Ukulele band led by Mr. Mituo Shibata, Club President. We sung together a number of popular Christmas songs and the hymns to the accompaniment of their music. Yen 14,000 was collected for our club's Niko-Niko (smiling) fund at the meeting. It was donated to the Osaka YMCA's Christmas Fundraising campaign as usual.

この聖句は、山上の説教の有名な聖句の一説ですが、「心の貧しい」とは、心が満たされていない状態を指しています。自分には誇れるものなど何もない事を認める、このへりくだった気持ち、態度は、神の祝福を受けるための初めの一歩といえます。しかし、このへりくだる態度、自分の非や過ちを認める態度は、多くの人にとって習得しがたいでしょう。人間、誰にでもプライドがあります。よく思われたいという気持ちがあります。さらに自分を実際よりも良く見せたいという虚栄心も働くかもしれません。しかし、自分を真正面から見てこそ、さらに自分の至らない所を見てこそ、初めて本当の意味で向上心が生まれるのではないのでしょうか。

聖句選/コメント：大村 肇
(次号は中村茂高です)

12月第1例会報告

と き：12月17日(水) 18:45~21:00

ところ：ホテルグランヴィア大阪

今年最後の例会を、ゲストを含め18名が集まり開催。今月の協調月間「EMC-C」について、山中メンがその目的と意味を説明しました。

今月のメインスピーカーは、毎日新聞京都支局元支局長の北出昭さん=写真。テーマは「新聞記者と新聞社の仕事」。彼の仕事と、新聞社の裏話を率直に話してくれました。彼が最も興味をもつ主題は、他のライバル社に先駆けどのように主要なスクープをとるか。私たちはニュースレポーターが毎日のビジネスライフで、そのようなスクープを獲得することに生きがいを見出すことを理解しました。そのほか新聞が多くの時間とエネルギーを費やし発行されるかについても学びました。彼はまた「IT革命」のもと、新聞社が取り組む現在の難問にも言及しました。

もう一つのハイライトは、芝田会長が率いる我がセンチニアル「ハネリ・マカヒキ・ウクレレバンド」のミュージック・パフォーマンス。私たちは多くのポピュラーなクリスマスソングと讃美歌を、伴奏に合わせて歌いました。

集まったニコニコファンドは、大阪 YMCA のクリスマス献金キャンペーンに寄付されました。(英文レターより抜粋)



BF報告

・芝田メン 37g

・山中メン 40g

・中村隆幸メン 95g

合計 172g

(中村隆幸)



谷川 寛

昨年8月、安倍首相は中南米6カ国を歴訪しました。日本にとって、エネルギー資源の豊富な中南米諸国との関係は重要な外交テーマになって来ています。ちょうどその後、JICAの授業で、「鉱工業による汚染対策」というテーマで来日した中南米からの研修生の授業を担当しました。参加国は、アルゼンチン、ボリビア、キューバ、コロンビア、エクアドール、パラグアイ、ペルー、ウルグアイからの男女23名でした。いずれの国々も資源開発の進展と共に汚染対策が主要テーマとなって来ています。最近の中南米経済は、二つの経済圏に二極化が進んでいます。太平洋に面するメキシコ、コロンビア、チリ、ペルーは経済発展が進みGDPでもメルコスール（南米南部共同市場）に属する大国のブラジル、アルゼンチン、ベネズエラを上回って来ています。しかし、最近中国の成長率鈍化などにより中南米の主要輸出品の鉱物や穀物の価格が下落、その影響をうけて中南米経済全体も停滞気味です。スペイン語の授業でしたが、みなさん英語の会話力を充分備えており、途中から英語の授業に切り替わりました。休憩時間にはお国自慢の話題に移り、アルゼンチン、ウルグアイ、コロンビアの人々は、前回のサッカーW杯の活躍の経験から、やはりサッカーの話。キューバは、野球が盛んでアメリカ、日本への優秀選手の海外進出の話題等々。アルゼンチンの人から自国のデフォルト（債務不履行）の話題も出ました。その影響でペソが暴落。ペソ最安値から輸入品価格の高騰に不満をもらしていました。中南米からの研修生の授業で大変楽しいのは、授業が終わると三々五々、私のところに来て、授業のお礼を述べて、持参したお土産をいただくことです。写真は、彼らからのお土産の数々です。



中南米の研修生たちがくれたお土産の数々

☆表現コミュニケーション学科10周年記念式典と成人祝福式

2005年に設立。多様な不登校生を対象とした表コミが10周年を迎えます。支えてくださった方々への感謝とこれからのことを共有する記念式典です。同時に中学時代いやな体験をもつ人たちが多く、「地元の成人式には行けないので、成人式をしてほしい」という保護者の希望は以前からあり、今回初めて成人祝福式を行います。ご一緒にお祝いしていただきますようご案内申し上げます。

日時：1月12日（月・祝）14:00～5:00

場所：日本キリスト教団大阪教会（大阪市西区江戸堀）

☆チャリティポウリング大会

クリスマス献金活動の一環として行います。若い人から大先輩まで、4人1チームで楽しく競います。豪華？商品もあります。ぜひ、ご参加ください！

日時：1月24日（土）19:00～

場所：桜橋ボウル

参加費：2ゲーム3,500円（献金込）

☆土佐堀YMCAを考える会

土佐堀YMCA地域調整委員会に属する研修兼宴会実行委員会主催の標記の会です。若い人の参加、ボランティアを増やす、他Yのモデルとなるような土佐堀YMCAにするなど、土佐堀YMCAを活性化するために楽しみながら一緒にお考えください。

日時：2月11日（水・祝）

①13:00～16:00 ②17:00～

場所：①大阪YMCA ②奥田時夫宅（福島区）

内容：①一部 考える会②二部 鍋パーティー

対象：地域調整委員、スタッフ、関心のある方

*一部だけのご参加もOKです。

（鍛冶田 千文）

○表現コミュニケーション学科「お茶会」11月25日開催

恒例になったお茶会。当クラブからは、中村幸枝、隅田、岡本、松浦メネット。そして藤井メネット（藤井メンのご母堂）もご参加。メンは、芝田会長以下、山中、大村、石津、山田、松浦メン。

表現コミュニケーション学科の生徒さんは、3年生約40名。冒頭、山中メンから「茶道の基本」について解説があり、「一期一会」の心、「野暮な話題」は避けて「数奇な話題（Good Taste）」に徹すること。また亭主ぶり、お客ぶりについてなど、わが国が誇る文化である「茶道」の精神についてわかりやすい解説がありました。中心になって下さった中村幸枝メネットから、下記のとおり感想が寄せられています。「雨の中、皆さまそれぞれ茶道具をお持ち寄り、また抹茶やお菓子の買い出しも、毎年のことながら大変だったことでしょうか。どなたもかなり早い時間にお集まり下さり、段取り良く進めて下さり、おかげですんなり行きました。山中メンの講義は、茶道の基本の説明の他に、茶室の中に限らず、今の私たちがコミュニケーションを取るうえで大切なことを論じて下さったように思います。若い生徒さんの心にも響いたことでしょうか。既にお濃茶の茶会を経験された男子もいて、何度も点てていました。もちろん興味を示さなかった方もいましたし、抹茶が好きでない男子には、お白湯を差し上げました。廊下では2年生女子が「来年私たちがするんですね、楽しみにしています。中学校、茶道部だったんです。」と声をかけられました。藤井さんのお母様にも、いきなり用事をお願い致しました。即戦力になって下さり、本当に有難うございました。皆さま、お疲れさまでした。次の茶会用に、「茶碗9個と竹筒の花入れ」表現コミュニケーション学科事務局に預けました。

（松浦 孝次）



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《会員、メネットからのメッセージ》

- 北出さんの記者の裏話、興味深かった。 (大村 肇)
- 新聞記者、新聞社という仕事と話を通して体験できたようなお話でした。 (岡本 剛介)
- プレスリリースをする立場にいるので、興味深く拝聴しました。有難うございました。 (鍛治田 千文)
- 新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。 (坂本 哲朗)
- ・新聞記者の仕事というのが厳しい仕事だと分かりました。
・厳しい寒さが続きますが、皆様良いクリスマスをお迎え下さい。(谷川 寛)
- 北出様、大変ご多忙の中を卓話して下さい、有難うございました。新聞記者としての醍醐味がよくわかりました。(芝田 光雄)
- 我が家はずっと毎日新聞を購読しています。今日のお話、興味深く伺いました。私はクロスワードパズルや数独を楽しんでいます。これからは記事もしっかり読もうと思います。(隅田 恵子)
- 私達の若い頃は新聞記者は憧れの仕事の一つでした。でも外から見るのとは大違いで、なかなか大変なお仕事ですね。IT革命の中で益々のご活躍を祈っております。(藤原 正巳)
- 新聞記者の仕事のお話が聞いて勉強になりました。有難うございました。(何 早林)
- 北出さんの話、「夜討ち、朝駆け」「特ダネ」など、生々しいご体験をお聞きました。新聞社の「事業」などについても淡々とお話されていましたが、豊富なご体験からにじみ出るものがありましたね。(松浦 孝次)
- 北出さんのお話、楽しく聞かせて頂きました。有難うございます。(松浦 和子)
- 北出さんの新聞記者の経験談、大変珍しく、面白かったです。生きたニュースをとる難しさ、苦労が少し理解できました。(三浦 直之)
- 北出明さん、興味津々、裏から、ハス斜めから見た卓話、有難うございました。(山中 秀男)
- 北出さんのお話で祖父の仕事を少し理解できました。また、懐かしく感じました。有難うございました。(山中ちあき)



表コミ茶会で、じょうずにお茶を飲む生徒たち



ウクレレの音色がクリスマス例会の夜を彩る



表コミ茶会で、お茶の準備に余念のないメネットたち

後 記

1月3日の朝日新聞の1面。米ハワイ州第8代知事に、日系3世のデービッド・イゲ(57)が就任しました。1974年から3期勤め、米国で戦後初の非白人知事、ジョージ・アリヨン(88)以来のこと。「日系人社会に活気がなくなった」と嘆いていたヌアヌクラブのメンバーの喜び姿が目につかびます。

その特集面に、かつて私たちが支援してきたアメラジアンスクール・イン・オキナワが、「第1回朝日みらい教育賞」を受賞した記事がありました。2004年にNPO法人化した同スクールも、現在は小学生50名と中学生20名が学び、「ダブル」の教育を掲げるスクールは大きくはばたいています。

この二つの記事の共通点。そしてまた私たちとこの二つの共通点。それを思うと胸が熱くなりました。

S.N